

アスクル、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄に選定

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:吉岡晃)はこのたび、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index の構成銘柄に選定されました。

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された FTSE Blossom Japan Sector Relative Index は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標)はここにアスクル株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

<FTSE Blossom Japan Sector Relative Index>

<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

アスクルは今後も「エシカル e コマース」として、透明性の高いコーポレートガバナンスを基盤に、事業活動を通じた環境課題、社会課題の解決に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社の ESG の取り組みはこちらからご覧いただけます。

<https://askul.disclosure.site/ja/>

※本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますのでご了承ください。